

事業番号	09 05 12	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input checked="" type="checkbox"/> 予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理体制整備事業			担当課	部局	林務部
				課・室	森林づくり推進課 野生鳥獣対策室	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり ◆様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		実施期間	H16 ~	

1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策を総合的に実施するための体制を整備する。 達成目標: 捕獲者(有害鳥獣の捕獲に従事する者)数の確保3,506人(H22) → 3,900人(H27)	
現状	○野生鳥獣の農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況。平成23年度農林業被害額14億2千万円 ○狩猟者は高齢化等により年々減少し、捕獲の担い手確保が課題。狩猟登録者数6,427人(H19) → 6,045人(H23)	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 県の専門的な組織により、県域を対象に人材養成することが効果的である。【環境省「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」】

成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	○クマ対策員の確保 4人: 県下4地域に配置 ○捕獲リーダー数 30人: 効率的な捕獲をコーディネートできる人材養成講座を受講した者					
	② 事業内容		(単位:千円)			
	項目	実施方法	H25実施内容	H24 (当初)	H25 (要求) (予算案)	
	1.野生鳥獣保護管理人材養成事業	直接	・野生鳥獣の生態、被害防止対策等の基礎研修、実技研修 ・ニホンジカ被害対策を推進するための県民運動の展開	1,361	1,158	1,027
	2.クマ対策員配置事業	委託	・専門的な知見を持つクマ対策員の配置	6,117	6,117	6,117
	3.クマ対策支援員緊急配置事業	直接	・クマ出没増加に対応するため支援員を緊急配置		213	0
4.狩猟環境整備支援事業	補助金・交付金	・狩猟技術向上のためのキジ放鳥事業への支援	1,015	1,015	1,015	
5.新規ハンター確保対策事業	補助金・交付金	・捕獲をコーディネートできる人材の養成 ・新規銃猟者の確保・育成経費への支援 ・銃猟者の育成に資する射撃場整備への支援	500 1,500	450 900	0 750	
6.関係機関調整・現地指導	直接	・国等との打合せ、緊急時の対応・指導等	880	769	769	
合計			11,373	12,731	11,678	

事業 コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
	前年度繰越					
	当初予算	11,302	11,700	11,373	12,731	11,678
	補正予算					
	合計(A)	11,302	11,700	11,373	12,731	11,678
	国庫支出金					
	県債					
	その他(繰入金)					
	一般財源	11,302	11,700	11,373	12,731	11,678
	決算額(B)	11,302	11,700			
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
概算人件費(C)	8,317	8,258	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	19,619	19,958	19,631	20,989	19,936	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
クマ対策員数	4	4			
捕獲リーダー数	0	30			

要求からの主な変更点	事業の優先度を考慮し、捕獲をコーディネートできる人材養成経費などを減額
------------	-------------------------------------